
1 5 0 3. 検疫前通報

業務コード	業務名
G I A	検疫前通報呼出し
G I A 0 1	検疫前通報

1. 業務概要

航空会社が当該空港到着前に、到着便名及び到着空港に係る検疫前通報情報をシステムに登録し、検疫所へ検疫前通報を行う。

また、本業務により検疫前通報情報の変更、取消しを可能とする。

(1) 「検疫前通報呼出し（G I A）」業務の場合

到着便名及び到着空港に係る検疫前通報の変更、取消しを行う場合に、検疫前通報情報を呼び出す。

(2) 「検疫前通報（G I A O 1）」業務の場合

到着便名及び到着空港に係る検疫前通報の登録、変更、取消しを行う。

2. 入力者

検疫所（人・航空）、航空会社

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

(1) G I A業務の場合

(A) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②入力者が航空会社の場合は、システムに機長代行者として登録されている利用者であること。
- ③検疫前通報DBに登録されているG I A O 1業務を行った入力者と同一の利用者であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

(C) 検疫前通報DBチェック

(a) 入力された主たる到着便名に対する情報が1件のみ存在する場合

入力された主たる到着便名に対する検疫前通報情報が存在すること。

(b) 入力された主たる到着便名に対する情報が複数存在する場合

- ①到着空港が入力されていること。
- ②入力された主たる到着便名及び到着空港に対する検疫前通報情報が存在すること。

(2) G I A O 1業務の場合

(A) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②入力者が航空会社の場合は、システムに機長代行者として登録されている利用者であること。
- ③処理区分が変更、取消しの場合は、検疫前通報DBに登録されているG I A O 1業務を行った入力者と同一の利用者であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

(C) 検疫前通報DBチェック

(a) 処理区分が登録の場合

入力された主たる到着便名及び到着空港に対する検疫前通報情報が存在しないこと。または、入力された主たる到着便名及び到着空港に対する検疫前通報情報が存在する場合は、取消しされた旨が登録されていること。

(b) 処理区分が変更の場合

入力された主たる到着便名及び到着空港に対する検疫前通報情報が存在し、取消しされた旨が登録されていないこと。

(c) 処理区分が取消しの場合

入力された主たる到着便名及び到着空港に対する検疫前通報情報が存在し、取消しされた旨が登録されていないこと。

5. 処理内容

(1) G I A 業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(C) 注意喚起メッセージ出力処理

登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

(2) G I A O 1 業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 検疫前通報DB処理

①入力された処理区分が登録の場合は、入力された主たる到着便名及び到着空港に係る検疫前通報情報を作成し、検疫前通報を行った旨を登録する。

②入力された処理区分が変更の場合は、検疫前通報の変更を行った旨を登録する。

③入力された処理区分が取消しの場合は、検疫前通報の取消しを行った旨を登録する。

(C) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

(1) G I A 業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
検疫前通報呼出し結果情報	なし	入力者

(2) G I A O 1 業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
検疫前通報情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 入力者が航空会社で処理区分が登録 (2) 感染性のものにかかっていると認められる者の有無が無かつ、航行中の死者の有無が無の場合	到着空港の該当施設区分を管轄する検疫所
検疫前通報（病人又は死者有り）情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 入力者が航空会社で処理区分が登録 (2) 感染性のものにかかっていると認められる者の有無が有または、航行中の死者の有無が有の場合	到着空港の該当施設区分を管轄する検疫所
検疫前通報変更情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 入力者が航空会社で処理区分が変更 (2) 感染性のものにかかっていると認められる者の有無が無かつ、航行中の死者の有無が無の場合	到着空港の該当施設区分を管轄する検疫所
検疫前通報（病人又は死者有り）変更情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 入力者が航空会社で処理区分が変更 (2) 感染性のものにかかっていると認められる者の有無が有または、航行中の死者の有無が有の場合	到着空港の該当施設区分を管轄する検疫所
検疫前通報取消情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 入力者が航空会社で処理区分が取消し (2) 感染性のものにかかっていると認められる者の有無が無かつ、航行中の死者の有無が無の場合	到着空港の該当施設区分を管轄する検疫所
検疫前通報（病人又は死者有り）取消情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 入力者が航空会社で処理区分が取消し (2) 感染性のものにかかっていると認められる者の有無が有または、航行中の死者の有無が有の場合	到着空港の該当施設区分を管轄する検疫所